

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成28年10月3日
【会社名】	株式会社ファーマフーズ
【英訳名】	Pharma Foods International Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 金 武祚
【本店の所在の場所】	京都市西京区御陵大原1番地49
【電話番号】	075-394-8600（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員総務部部長 青笹 正義
【最寄りの連絡場所】	京都市西京区御陵大原1番地49
【電話番号】	075-394-8600（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員総務部部長 青笹 正義
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【提出理由】

当社は、平成28年10月3日の当社取締役会において、当社による子会社取得を行うことを決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 取得対象子会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

- ① 商号 : 株式会社フューチャーラボ
- ② 本店の所在地 : 東京都港区赤坂8丁目5番32号 田中駒ビル4階
- ③ 代表者の氏名 : 代表取締役社長 有田 賢
- ④ 資本金の額 : 100百万円
- ⑤ 純資産の額 : 1,217百万円
- ⑥ 総資産の額 : 1,328百万円
- ⑦ 事業の内容 : 化粧品の販売等

(2) 取得対象子会社の最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

(単位:百万円)

決算期	平成25年12月期	平成26年12月期	平成27年12月期
売上高	1,660	1,612	1,351
営業利益	52	47	△234
経常利益	66	61	△220
当期純利益	40	38	△144

(3) 取得対象子会社の当社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

- 資本関係 当社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
- 人的関係 当社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
- 取引関係 当社と取得対象子会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

(4) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は「Pharma（医薬）」とFoods（食）」の融合「Pharma Foods」を目指す研究開発型のバイオ企業です。主要な事業は、アミノ酸由来の「GABA（ギャバ）」等を販売する「機能性素材事業」、膝関節用サプリメント「タマゴサミン」、化粧品クリーム「珠肌のうみつ」等を販売する「通信販売事業」、創薬を行う「バイオメディカル事業」を展開しております。

通信販売事業は平成24年より開始し、独自素材を活かした商品開発力、自社コールセンターの運営、効率的な定期顧客獲得等により、順調に成長しております。当社は通信販売事業を有力な成長事業と位置付けており、予てよりシナジー効果を創出するM&Aを検討しておりました。

フューチャーラボ社は株式会社ポーラ・オルビスホールディングスの子会社で、角質ピーリングゲル「デルマQ II」等の化粧品を、TV通販と自社通販（Web、カタログ等）で販売しております。TV通販では10年以上の実績があり、多様な商品の開発力と映像の制作技術・訴求力を持ち、複数の有力な販路を有しております。

自社通販においても、効果的な広告展開により多数の顧客を有しております。

当社の通信販売事業における、①商品開発力、②自社コールセンターの運営、③定期顧客獲得のノウハウと、フューチャーラボ社が有している既存の経営資源を融合することで、シナジーが創出され、同社事業の一層の拡大が見込めます。

また、フューチャーラボ社が有しているTV通販ルートにおいて、当社の商品開発力を活かした新製品の投入等を行うことで、当社の通信販売事業の拡大に寄与することが見込めます。

両社の主力製品は化粧品分野において重複することがなく、互いに補完し合い、既存の顧客へ対しクロスセルを展開できます。

以上のシナジー効果が見込めることより、今般、フューチャーラボ社の株式取得を決定いたしました。

M&A実行後は、当社およびフューチャーラボ社の更なる成長を実現し、当社グループの企業価値の増大化に繋がてまいります。

(5) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

株式会社フューチャーラボの普通株式	1,200百万円
アドバイザー費用等（概算額）	1百万円

合計（概算額）	1,201百万円
---------	----------

以 上